

様

手術前日(入院) /		手術当日 /	手術後1日目 /	手術後2・3日目 / ・ /	手術後4・5日目(退院) / ・ /
観察	体温・血圧・脈拍を測ります 	体温・血圧・脈拍を測ります(1日1回・手術日は手術前後) 痛み、複視(物が重なって見える)、充血、腫れ、出血(血の混じった涙)吐き気、顔の知覚麻痺など症状の観察を行います ちょっとした変化でも医師、看護師にお知らせください			
食事	普通食 ＜手術が午前の場合＞ 21時以降食事はやめてください	手術が午前の場合:手術前日21時まで食事可。手術当日7時まで お茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます 手術が12時(12時含む)～15時の場合:手術前日21時まで食事可 手術当日9時までお茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます 手術が15時以降(15時含む):手術当日8時まで食事可 手術当日12時までお茶・水・スポーツ飲料の飲水はできます 手術後3時間したら看護師がお腹の音を確認後、飲水ができます その1時間後に食事ができます。(召し上がる方はご自分でご用意ください) 	普通食 		
清潔	手術の準備として入浴、洗髪をしましょう マニキュアはとってください 爪は短く切りましょう	入浴はできません 化粧はあらかじめ落としましょう	シャワー・シャンプーをすることができます ＊下を長時間向いてると創部がうっ血するため、上向きで頭を洗いましょう (眼帯があたっている場合は介助下でのシャンプーとなります) 		
排泄	トイレまで歩行ができます	手術後はトイレまで歩行ができます(最初のトイレは看護師が付き添います) トイレ以外はなるべく安静にしましょう (夜間など必要時は看護師を呼んでください)	トイレまで歩行ができます ＊見えにくさがある方は注意して動きましょう 		
診察		毎朝診察があります。			
処置		帰室後から術部をクーリングし、頭を高くしてください 	創部の消毒、血抜きの管が入っている方は診察の様子で管を抜きます		
リハビリ			眼の見える範囲を広げる運動を始めます(追視運動)、眼の動きをスムーズにする運動を始めます(振り子運動)		
検査			手術の結果、合併症の有無を調べるため眼窩CT検査を行います 外来で眼科検査があります	(4日目)外来で眼科検査があります	
薬物療法	点滴	手術中に点滴が始まります、抗生物質の点滴を行います ＊手術時間が遅い方や、糖尿病の方は手術前に点滴をすることがあります ＊点滴終了後痛みや吐き気がなければ針を抜きます			
	内服薬	常用薬を看護師が確認します ＊入院中の方は持参してください ＊中止する薬があればお知らせします	痛み、吐き気、発熱時は薬を使用できます	抗生物質、胃薬を食後に飲みましょう(3日間) (朝、看護師が渡します) 	
説明指導 退院計画	看護師から手術の時間、食事についての説明があります 手術同意書の確認をします 入院診療計画書をお渡しします スリッパでは滑りやすいため、靴を履きましょう	手術は : ごろの予定です 手術室までは歩いていきます、帰りはベッドで戻ります 手術室へ行く前にトイレと着替えをすませ、両腕を洗い、歯磨きをしましょう 着替える服は看護師がおもします、ネームバンドの確認をさせていただきます 片目での生活のため注意してください(階段の使用は避けましょう、また必要時はベッド柵を使用しましょう)	追視運動・振り子運動の説明をします 薬剤師から薬の説明があります (手術後1日目までに) 治療食を摂取中の方で栄養指導のある方もいます	次回外来について診察時説明します 診察券と次回の予約券を渡します (4日目)看護師から退院後の生活について説明があります	
目標	入院中の予定がわかり、手術後の注意事項がわかる	手術の準備ができる	追視運動・振り子運動を行うことができる 入浴時に長時間うつむきで頭を洗ってはいけなことがわかる		
	鼻をかまない、力まないことを理解できる (術前～最低1ヶ月まで)	手術の後、1ヶ月ぐらいまで鼻をかんではいけないことを理解できる 転倒・転落なく入院生活を送ることができる (ベッドの周りを片付け、ベッドの高さは一番低くしましょう)  痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるかを医療者へ伝えることができる(痛みの程度は数字の0から10「0:痛みなし、10:最悪の痛み」で伝えましょう)			

術後感染に注意することができる(傷を触らない、手洗いをし、手を清潔にする、傷が痛い時や赤く腫れている時には、医療者に伝える、処方された薬をきちんと飲む)

※症状経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2002年3月作成(2024年4月改訂) / バス委員会承認 聖隷浜松病院 B4病棟